

Arts Commission Yokohama Annual Report 2008

アーツコミッション・ヨコハマ 平成 20 年度 事業報告書

平成 20 年 4 月 1 日～平成 21 年 3 月 31 日

財団法人横浜市芸術文化振興財団 協働推進グループ



Arts Commission·Yokohama

1. 事業趣旨

横浜市の創造都市政策では、人々が創造性を発揮する社会の実現による都市の魅力発信のために“創造の担い手”の集積を目指しています。

アーティスト、クリエイター、NPO、市民、企業、学校“創造の担い手”が活動しやすい環境作りを行うことで、この政策を推進します。

アーツコミッション・ヨコハマは、“つなぐ、ふやす、アートの現場”を合言葉に、文化芸術を通じたまちづくりに寄与するあらゆる事業者に対し、中間支援事業を行います。

2. 事業方針

- (1) 情報提供、相談、滞在支援等により、アーティスト・クリエイターやNPO等の創造の核となる人々の活動をサポートします。
- (2) アートの現場をむすび、まちと人とアートのネットワークを生み出します。
- (3) 将来の創造の担い手となる人材の活動を支援します。
- (4) アジアを軸に、アーツコミッション・ヨコハマの作り出すネットワークを広く海外までつなぎます。

3. 事業目標の達成率

アーティスト、クリエイター等立地促進助成数

平成 19 年年度 4 件、平成 20 年度 14 件 現時点の総計 34 件

横浜市の中期計画の事業「創造界隈の形成」より、アーティスト、クリエイターの立地促進助成数を目安としています。平成 22 年度までに延べクリエイター等立地促進助成制度の交付件数 100 件を目標としています。平成 18 年度までは、16 件です。

4. 概況

2 年目を振り返り、アーツコミッションの役割の一つが見えました。
それは、「0 から 1 へ」の過程に関わることです。

ベースとなる相談・コーディネート業務は、数、質、内容の幅の広さといずれも増加の傾向にあります。今後は、芸術だけに限らず、まちづくりや経済への幅広い知識を持ったプラットフォームの形成が目標です。

創造界隈の各拠点とは、少しずつ連携が取れるようになりました。急な坂スタジオとは、ラ・マレア横浜を共催、BankART とは、野毛マリヤビルや、本町ビルの事務所移転やなどが、上げられます。

新たな事業では、助成事業の運営や、実験的なアートフェアの開催、芸術不動産モデル事業の開催、アーティスト向けの契約、会計、助成申請の講座と、芸術の基盤づくりとなる支援型事業に力を入れています。

来年度は、中間支援事業の組織力・機能強化が課題です。属人的な知識・コネクションを組織で共有していく過程を通して、組織全体のインテリジェンスの向上に努めます。また、それらを公開する手段として、WEB の改善が緊急の課題です。

来年度は、ヨコハマクリエイティブセンターでの活動が、始まります。ACY は、創造都市政策のコアとして、また、気軽に訪ねられる良き相談役として、助成事業の評価や、調査・実験事業の結果を生かした戦略的な事業展開を行い、事業者にとってACY が、「+1」となれる存在を目指します。

5. 事業実績

(1) 相談・コーディネート

2年目を迎えた窓口は、継続した相談が、コーディネート事業に繋がっています。

☆つなぐ不動産

万国橋 SOKO、松島ビル、本町ビル、東邦ビル、大津ビル等、アーティストが拠点としている馬車道周辺のビル入居の動きが途絶えぬよう、お手伝いをしました。

☆つながる人々

昨年から継続して相談を受けていたアーティスト数組が、横浜への移転を完了させ、移転後、速やかに活動を始められています。これは、相談の中から優れたアイデアを持つ人を選び、市内の活動を紹介しながら、拠点、事業と、段階的にマッチングしてきた成果です。

☆まわる助成と情報

助成制度をACYが直接実施した成果で、相談から市内の様々な制度へ繋ぐ回数が多くなりました。また、経済系、まちづくり系の中間支援団体とのネットワークも拡がり、ソーシャルベンチャーや、コミュニティビジネスの分野の相談も入るようになりました。総合的な情報機関へと成長中です。

①相談窓口

主体	アーツコミッション・ヨコハマ
期間	通年
場所	ZAIM1階
内容	創造の担い手の課題の解決に向けたアドバイス、調整等を行いました。 ここで、集積した情報は、各種事業にフィードバックされます。また、これらの相談を通じ、いくつかのプロジェクトが起っています。 相談件数 190件 (8ヶ月間) *別紙参照

②アートデータバンク

主体	アーツコミッション・ヨコハマ
内容	前年度に引き続き、アーティスト、クリエイターの情報登録制度を実施。 市内をはじめ、横浜で活動をしたい多くの方の登録がありました。ラウンジでの開架とホームページでの公開を行っています。 また、ホームページ公開については、現在データベース化(※)を進めており、登録手続きの簡便化及び検索機能の充実等、利便性の向上を図っています。 登録者数(予定数含む) 38件(20年度分) / 合計 80件

※データベース化について

アートデータバンクのデータベース化については、イベント情報のデータベース化(平成19年度実施済)とそれに連携する創造界隈マップ構築等と一体的に進めており、平成20年度はイベント情報データベースと連携した創造界隈マップ構築を行いました。アーティスト情報のデータベース構築については、平成21年度に継続実施予定です。

(2) 助成事業

2つの制度を横浜市から移管して実施、1つ新規の制度を立ち上げました。データベース機能への登録を行い、中長期的な関係性を構築していきます。

①横浜市先駆的芸術活動助成

クリエイティブシティ・ヨコハマの形成に寄与すると認められる創造性にあふれた芸術文化活動を対象とした助成事業。また、単なる金銭的支援にとどまらず、事業実現に向けて会場調整、関連機関への取次ぎ等のサポートを行なうなど、アーティスト等の創造の担い手支援を目的とするアーツコミッション・ヨコハマならではの支援を行ないました。

高い先駆性を持った芸術家による事業から、地域のコミュニティや、都市計画を意識したもの、国際的なネットワーク構築を目指した事業まで、創造都市にふさわしい、幅広い提案をいただき、実現することができました。

■助成額：対象経費総額の2分の1以内で、一活動につき最大100万円以内

■助成実績：総助成額500万円、採択件数13件（申請数67件／前年32件）

【交付事業】

主催	事業名称	ジャンル	開催時期
NPO 法人 横浜シティアートプロモーション	スモール・アート公募展 「パスポートお願いしますーアーティストにより 創作された自己証明書展	現代アート	8/2～17
ボートピープルアソシエーション	Yokohama Canal Cruise	アートプロジェクト	8月～10月
空間アート協会ひかり	アリス・プロジェクト	演劇	8月～12月
ファーイーストコンテンポラリーズ	PLATFORMseoul2008 サテライトプロジェクト PLATFORM 横浜セミナーAFTER HOURS	現代アート	9/11～9/14
中野成樹＋フランケンス	中野成樹＋オオカミ男の短々とした仕事その4 「ちょっとした夢の話」	演劇	9/18～9/21
本町ビルシゴカイ	OPEN STUDIO 「シゴカイ住民会議 vol.2」	アートプロジェクト	9/20～9/23
スクラッチタイル	スクラッチタイル オープンスタジオ	現代アート	9/12～11/30
寿オルタナティブ・ネットワーク	KOTOBUKI クリエイティブアクション	現代アート	平成20年11月 ～平成21年3 月
ニブロール	Small Island	舞台芸術	11/19～11/24
Offsite Dance Project	ダンス・コミュニティ・フォーラム We dance	コンテンポラ リーダンス	平成21年 1/31～2/1

大橋可也&ダンサーズ	MOV 横浜	コンテンポラリーダンス	平成 21 年 3/7
ON-COO プロジェクト	音の森 Sympho Canvas コンサート 「百葉窓」	音楽	平成 21 年 3/13~15
安野太郎	映画音楽2008	音楽・映像	平成 21 年 3/22

②アーティストを支援するプログラムのための助成

下半期より、ACYの新規助成プログラム「アーティストを支援するプログラムのための助成」を創設。アーティストや事業に対してではなく、ACYのように中間支援をおこなう団体・活動への助成制度を立ち上げました。ACYとしてもテーマとなっている「不動産系」の提案をした2団体を対象として決定しました。

■助成額：一件最大 60 万円

■助成実績：総助成額 120 万円、採択件数 2 件（申請数 21 件）

【交付事業】

主催 / 事業 名称	寿オルタナティブ・ネットワーク “寿町周辺地区でのアート活動を目的とした滞在支援システムづくり及び拠点整備”	河内晋平 “アーティストの秘密基地プロジェクト”
内容	<p>①寿町地区における文化芸術活動の拠点整備</p> <p>制作や作業に使用できるスタジオ施設の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・短期利用(4週間) ・月額 30,000 円(予定) ・利用者公募 <p>②2500 室を超える簡易宿泊所の空室を、オーナーとの提携により有効活用</p> <p>簡易宿泊所紹介システム</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1泊 1,000 円台 ・Web での宿泊受付等 ・あわせて地区内外の情報提供をおこなう ・①のスタジオ利用者は割引有 	<p>青葉区周辺での制作スペースの整備と情報提供</p> <p>①アトリエスペース提供、開拓</p> <ul style="list-style-type: none"> ・期間、費用等フレキシブルに対応 ・改修にも対応 ・現状3件のアトリエを運用 ・新たな物件開拓 <p>②職人紹介</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大工、木工、溶接など、制作をサポートする職人紹介窓口

③クリエイター・アーティストのための事務所等開設助成

助成金額を3倍、上限額を2倍に改訂した。また、新たに、ギャラリスト、インキュベーターなどのディレクター系人材を対象とした。結果、創作の場だけではなく、育成、発信の場を戦略的に増加させることに成功した。

傾向として、JRの海側「関内エリア」、特に馬車道方面への移転が多い。また、黄金町、横浜橋という、これまで移転対象エリアとなっていなかった地域への進出が始まっている。

■助成額：一件最大200万円

■助成実績：総助成額660万円、採択件数14件（申請数14件/前年4件）

【交付事業】

団体名、個人名	対象ジャンル
今井智彦建築設計事務所 今井智彦	デザイン制作(建築)
STUDIO GEN KUMAGAI 熊谷 玄	デザイン制作(建築)
青山秀樹	ギャラリー
エクスプロージョン 白井美穂	芸術活動(美術家)
ハニーエアソシエツ 一級建築士事務所 山口英生	デザイン制作(建築)
市村作知雄	ギャラリー、インキュベーター
ステップチェンジ株式会社 奥澤晋	デザイン制作(建築、等)
今井尋也	芸術活動(舞台芸術家)
かわしまかんすけ事務所	デザイン制作(建築)
野老朝雄	芸術活動(美術家)
村上寛光	映像コンテンツ制作(アニメ)
STUDIO 2A 宮晶子	デザイン制作(建築)
中村敬	芸術活動(美術家)
丸山純子	芸術活動(美術家)

* 現在、金額は、確定作業中。

(3) 創造都市横浜国際レジデンス事業

創造界隈の3拠点であるBankART1929、ZAIM、急な坂スタジオと共催し、海外の芸術家の滞在型事業を行いました。

☆ACYと創造界隈拠点、NPOの連携事業

急な坂スタジオが、助成金を取得して実施した事業の後方支援を行った。フィールドワークから、町内会、店舗、警察との調整等、フィルムコミッション的な役割を果たした。また、BankART1929とは継続的な展開を行い、ZAIMでは、入居者であり、アジアの現代アートネットワークを専門とする非営利組織をバックアップする形で、実施している。

①急な坂国際交流レジデンス Vol. 2

主体	急な坂スタジオ
期間	平成20年4月20日(日)～25日(金)/9月5日(金)～10月5日(日)
会場	急な坂スタジオ、吉田町
内容	来日作家：マリアーノ・ペンソッティ、マリアナ・ティランテ(アルゼンチン) ラ・マレア横浜の作品制作、発表。 出演者：16名(市民参加)/来場者数：2,700人

②台北市・横浜市アーティスト交流プログラム

現在実施中。

主体	BankART1929
期間	平成21年2月11日(水)～4月中旬
会場	BankART Studio NYK、BankART ホワイトビル
内容	来日作家：チェン・ワンリン 2ヶ月間の滞在、市内のフィールドワークを通じた創作、発表。横浜在住作家、ディレクター、市民との交流を積極的に展開。

③北京市とのアーティスト・イン・レジデンス交流事業

現在実施中。

主体	ZAIM (Far East Contemporaries)
期間	平成21年2月1日(日)～3月31日(火)
会場	ZAIM、東邦第一ビル
内容	来日作家：ワン・ウェイ、レニヤ・ホ(北京) 2ヶ月間の滞在、市内のフィールドワークを通じた創作、発表。横浜在住作家、ディレクター、市民との交流を積極的に展開。

(4) 芸術不動産モデル事業（横浜橋アートハウス）

アーティスト拠点形成のモデル事づくりのため、オーナーと協働して、アトリエハウスの設置、入居者の公募を行った。拠点形成、まちづくり、大学連携、環境等々、様々な要素を盛り込んだ企画とした。

主体	アーツコミッション・ヨコハマ、物件オーナー、関東学院大学（設計）、東京工業大学（調査研究）
期間	平成20年6月～12月
会場	横浜橋アートハウス
内容	築50年、20年放置してあった木造2階建て物件の改修、入居者募集を行った。これを通じて、芸術不動産の仕組みを研究し、報告書にまとめた。

(5) 創造都市プロモーション

トリエンナーレ2008や黄金町バザールなど主に横浜都心部で活発なアート展開が行なわれた秋期に照準を合わせ、同時期のイベント情報を総合的にガイドする「A.C.Y マップ秋特別号」（日英バイリンガル）を発行しました。様々な情報が個別に発信される中で、エリア全体をナビゲーションする媒体として好評を得ました。

発行部数	5万部
配布先	市内外のホテル、商業施設、文化施設、区役所、観光案内所、ギャラリー、教育機関等、約400施設

(6) アートマーケット

アーティスト、クリエイターが育つ環境づくりに向けて、実験的なアートフェアの開催、ギャラリー誘致のためのヒアリング調査を行いました。あわせて、「アートと市場」をテーマにした、シンポジウムを開催しました。

①横浜アート&ホームコレクション

主体	横浜アート&ホームコレクション実行委員会
日時	平成20年11月28日（金）、29日（土）
会場	横浜ホームコレクション
内容	みなとみらいの住宅展示場と連携し、現役のモデルハウスの中で、アート作品を展示、販売を行いました。来場者には、生活空間とアートの融合を提案し、事業者には新たなビジネスモデルの提案を行いました。入場者の約半数からアンケートを回収しており、横浜における作品取引の現状把握を行いました。23のギャラリー、2つの非営利団体、17棟のハウスメーカーが参加。来場者数：1,339名。

②ギャラリー誘致のための調査事業

主体	アーツコミッション・ヨコハマ
日時	平成20年5月～8月
内容	都内50の現代美術の企画画廊に、横浜におけるギャラリー立地の可能性について調査を行った。

③シンポジウム「アートと市場、アートの市場」

主体	アーツコミッション・ヨコハマ／ZAIM／ミアカビデオアーカイブ
日時	平成20年10月5日（日）14:00
会場	ZAIM
内容	アートにおける映像、そして映像作品の魅力と市場をテーマに、3名のスピーカーによるシンポジウムを開催。 [スピーカー] 会田誠(アーティスト) 片岡真実(森美術館) 三瀧末雄(ミズマアートギャラリー) ■参加者80名

(7) 若手・学生支援事業

多くの学生がアート活動する都心部を目指して、美術系大学や卒業制作展の支援を行いました。

☆都心部で開催の卒業制作展を取りまとめたポスターを掲出

都心部で1月～3月に開催される美大、専門学校の卒業制作展の集合ポスターによる広報協力を実施しました。また、多摩美術大学海老沢研究室による、みなとみらい線みなとみらい駅構内で展開される「TAMAVIVANT2008」（2008年10月10日～16日）の開催支援を行ないました。

卒展2009ポスター

主体	アーツコミッション・ヨコハマ
内容	創造界隈拠点施設での美術系大学・専門学校の卒業制作展の情報の集合ポスター（B1サイズ）を制作。各学校、会場やみなとみらい線構内への掲出などを行いました。 また、ACYホームページにも連動した卒展リンク集ページを設置。

(8) 講座・シンポジウム

アーティストやアートNPOのかたなどが活動するうえで関わる、助成申請や契約などの実務系講座や、“アートと市場”や“クリエイティブ”をキーワードにしたシンポジウムを開催。

①助成金講座

主体	アーツコミッション・ヨコハマ
日時	平成20年11月14日(金) 19:00
会場	ZAIM
内容	“芸術文化活動に対する”助成金を申請したいけれど、そもそも助成金とはどういったものなのか、どのような助成金を選んだら良いのかなど、助成金を申請する際に出てくる疑問について考える講座。 “助成金とは何か”から始まり、情報収集方法、申請先候補の探し方、申請書類の書き方に至るまで、助成金についての基礎的な知識を考察。 [講師] 若林朋子(企業メセナ協議会シニアプログラムオフィサー) ■参加者24名

②税務・会計講座

主体	アーツコミッション・ヨコハマ
日時	平成20年12月19日(金) 19:00
会場	ZAIM
内容	アーティストにとっても必要な税金の基礎講座。税金・社会保険の基礎知識、青色申告、消費税、節税対策など、税金・申告のポイントを考察しました。 [講師] ベイ・タックス税理士法人 ■参加者15名

③契約・著作権講座

主体	アーツコミッション・ヨコハマ
日時	平成21年1月29日(木) 19:00
会場	ZAIM
内容	アーティストと主催者間など、いろいろな業務関係の中で派生する契約、またその契約書の項目でもよく謳われる著作権を考察する講座を実施しました。 [講師] 豊島康晴(行政書士) ■参加者16名

④陽春文化鼎談「野生と創造」

(3月末開催)

主体	アーツコミッション・ヨコハマ／(社)企業メセナ協議会
日時	平成21年3月24日(火)15:30
会場	BankART Studio NYK
内容	独自かつ普遍的なアイデアで、圧倒的な話題性と集客力を誇る旭山動物園のキーマンを招き、「発想転換力」「想像力」をキーワードに、シンポジウムを開催予定。 [出演]坂東元(旭山動物園副園長)、甲斐賢治(NPO法人remo代表理事) 加藤種男(横浜市芸術文化振興財団専務理事・アサヒビール芸術文化財団事務局長)

(9) ホームページ

ACYの活動をホームページで発信。助成プログラムは、募集要項、応募フォームをサイト上からダウンロードができます。

また、ヨコハマ・アートナビのデータベースと連動し、創造界隈のアートイベントを検索できるマップを搭載しました。